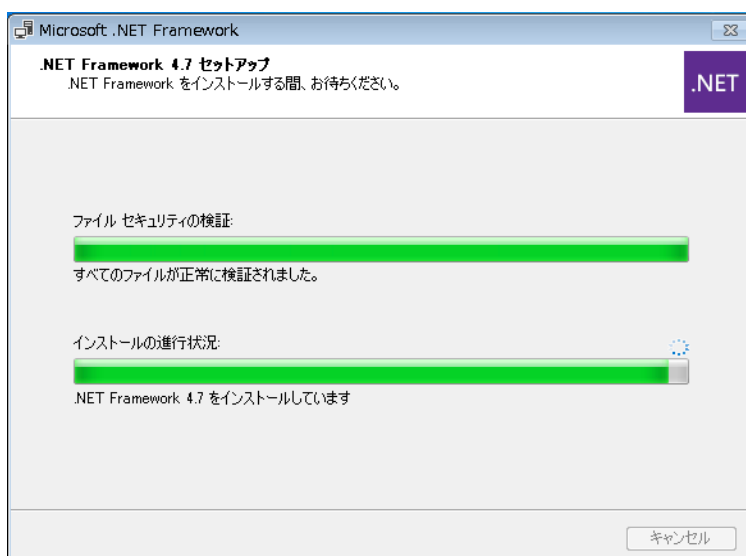
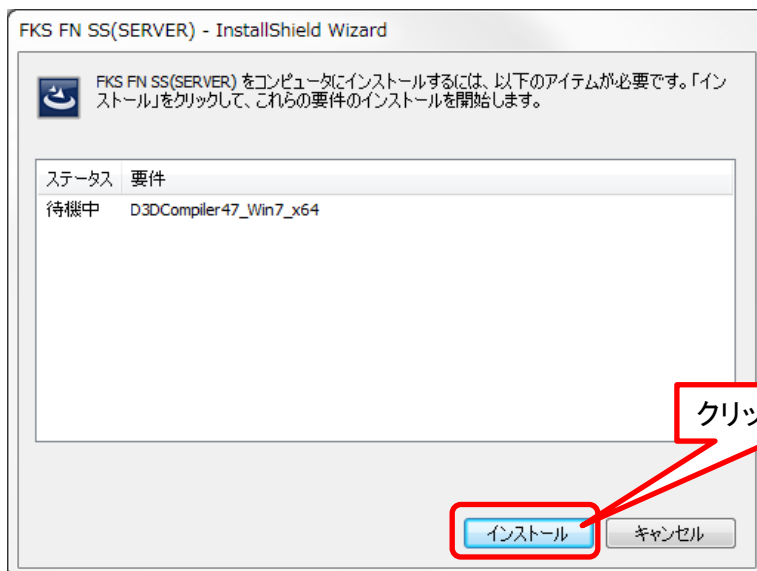
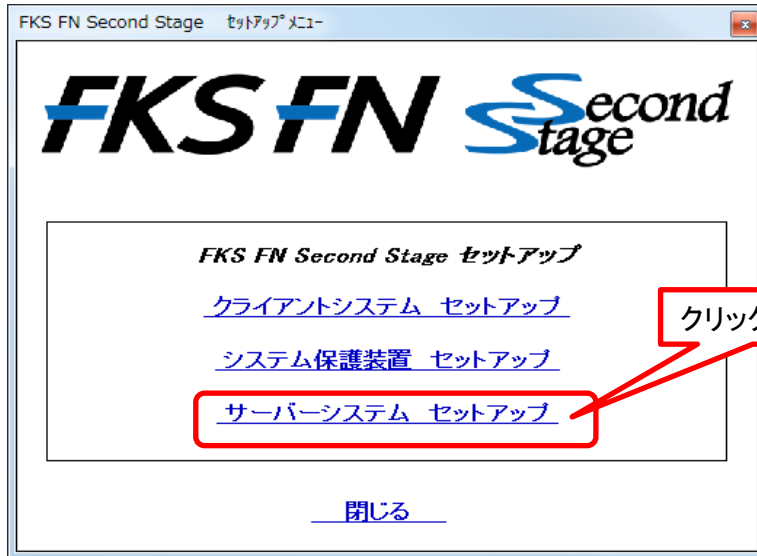


インストールしたがログインできない

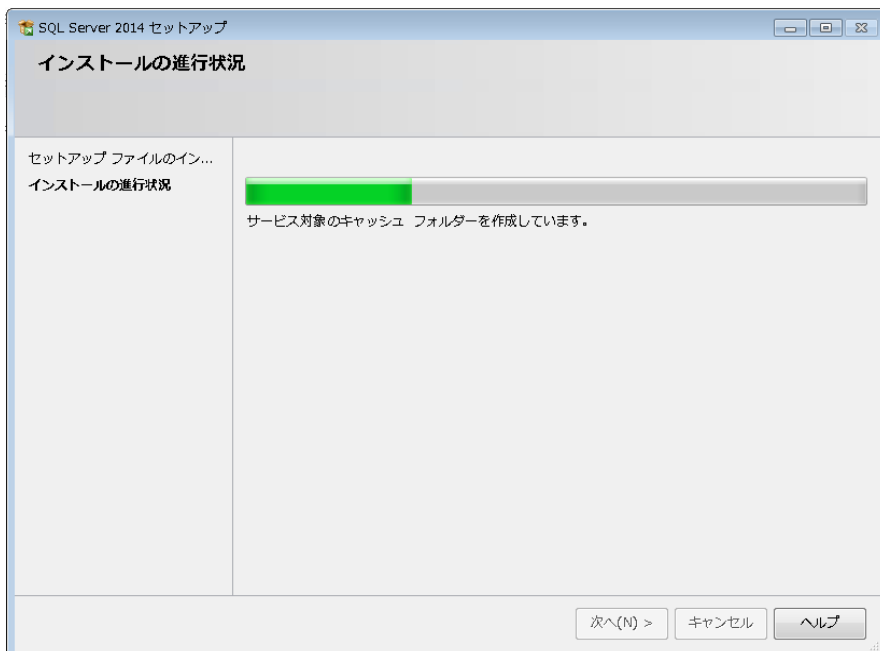
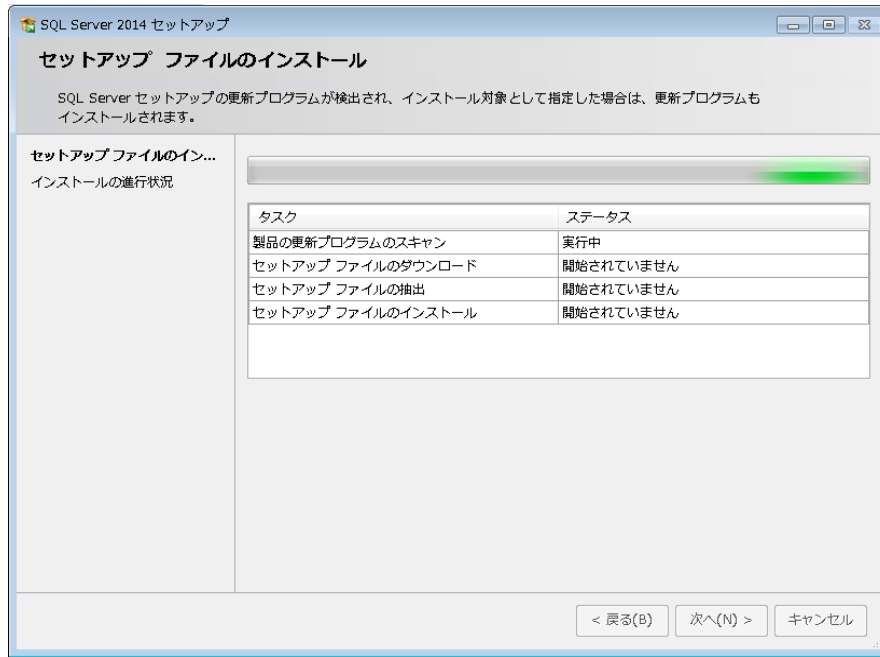
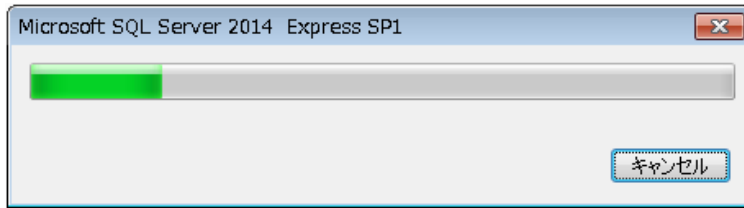
インストールしたがログインできない場合は、サーバーシステムをセットアップしていない可能性があります。

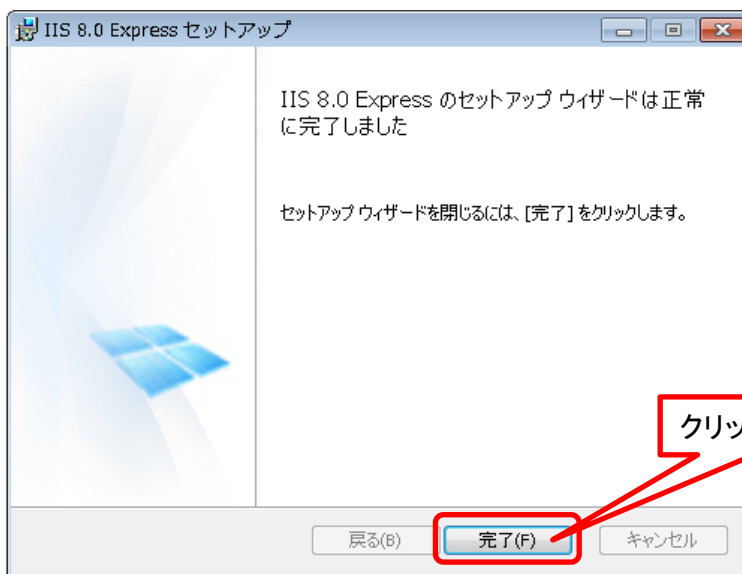
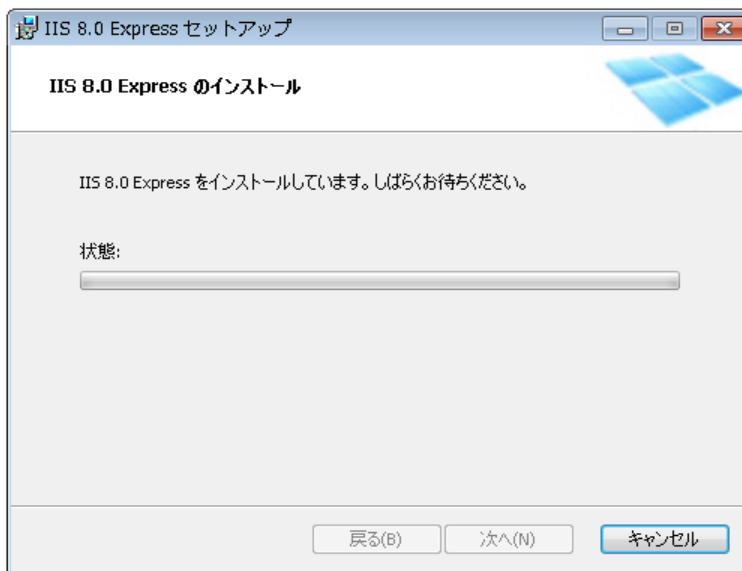
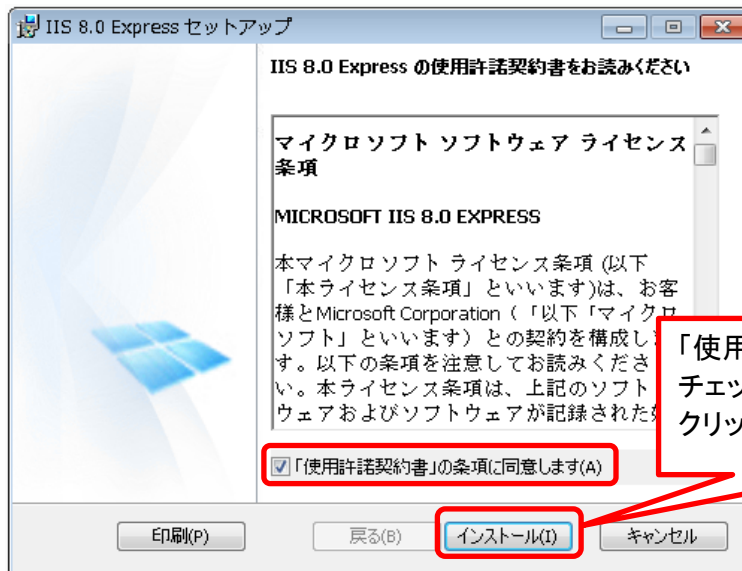
下記手順でサーバーシステムのセットアップを実行してください。

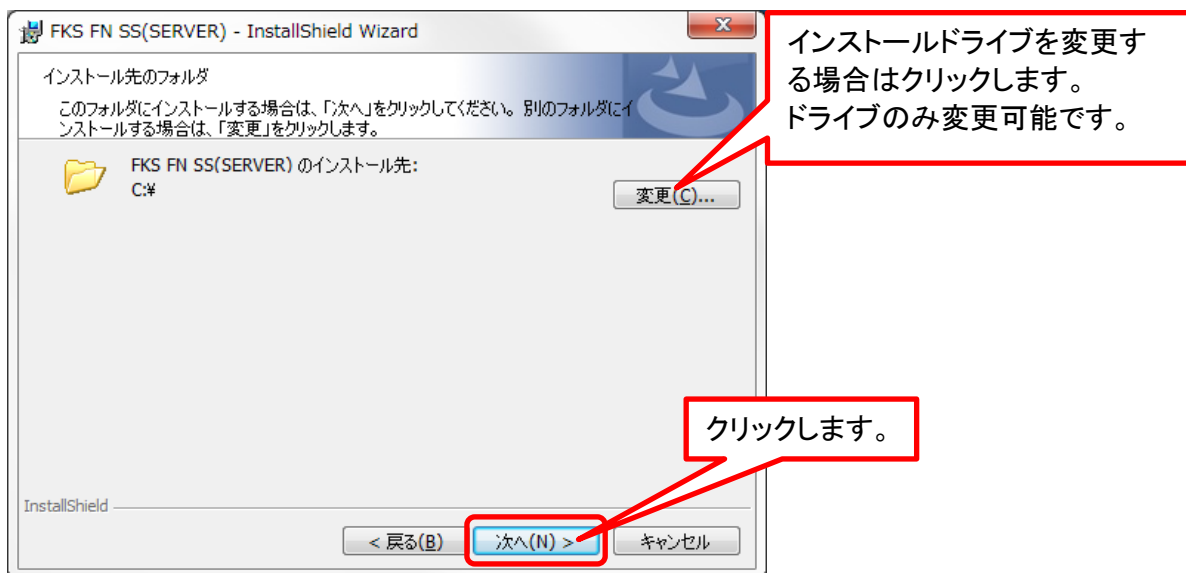
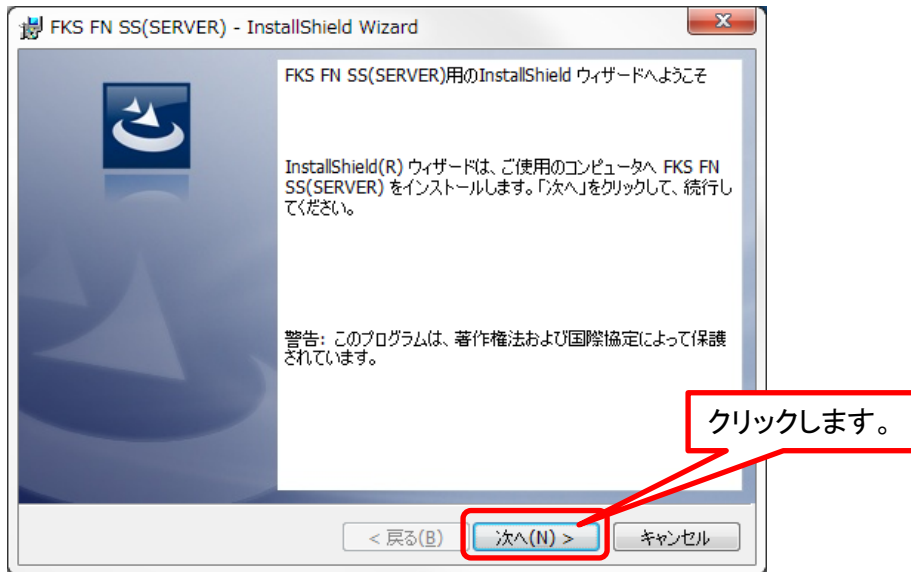
サーバーシステム セットアップ (例 FKS/FN SS)

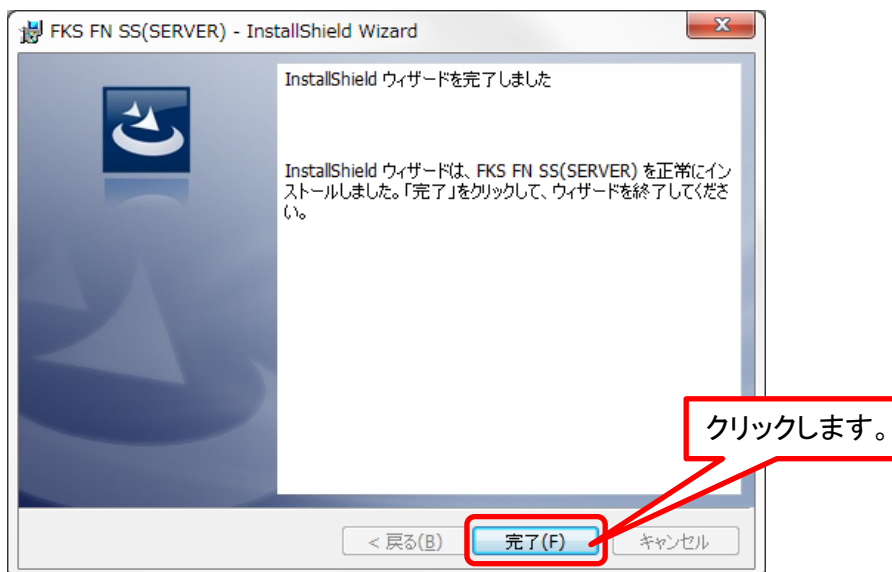
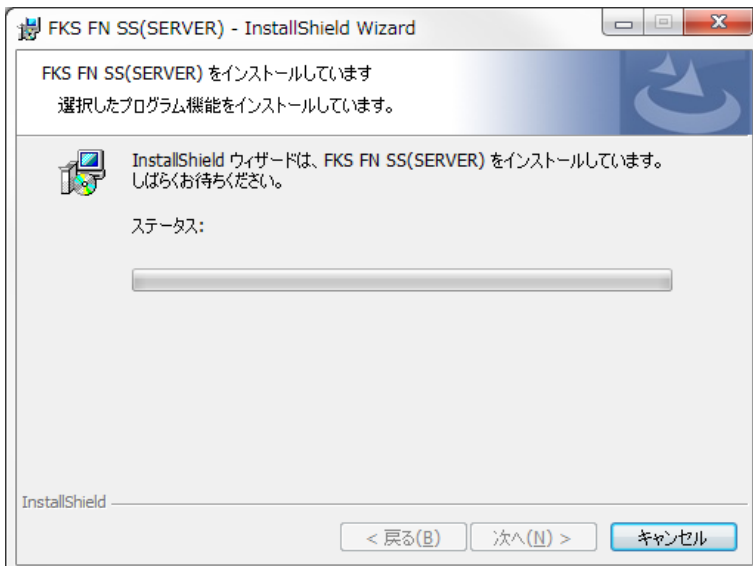
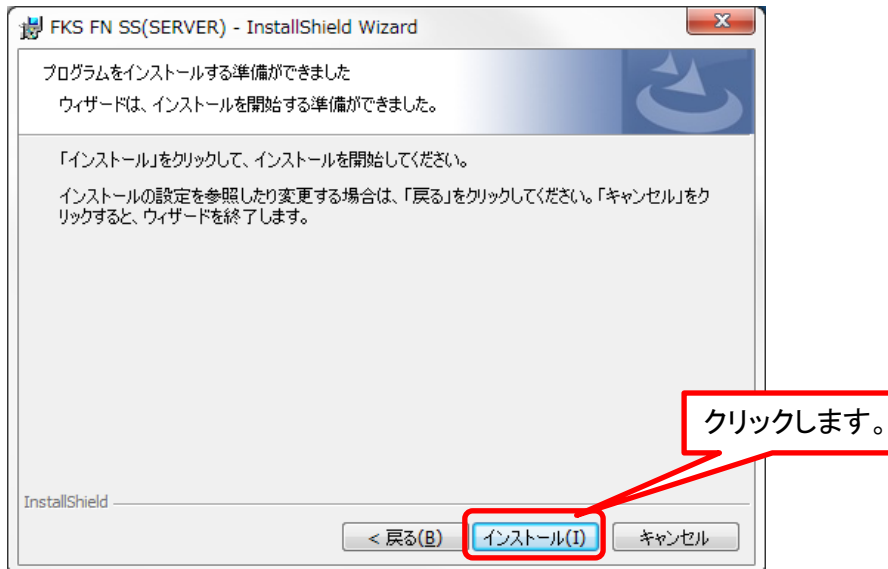


※クライアントシステムが既にセットアップされている場合、この画面はスキップされます。





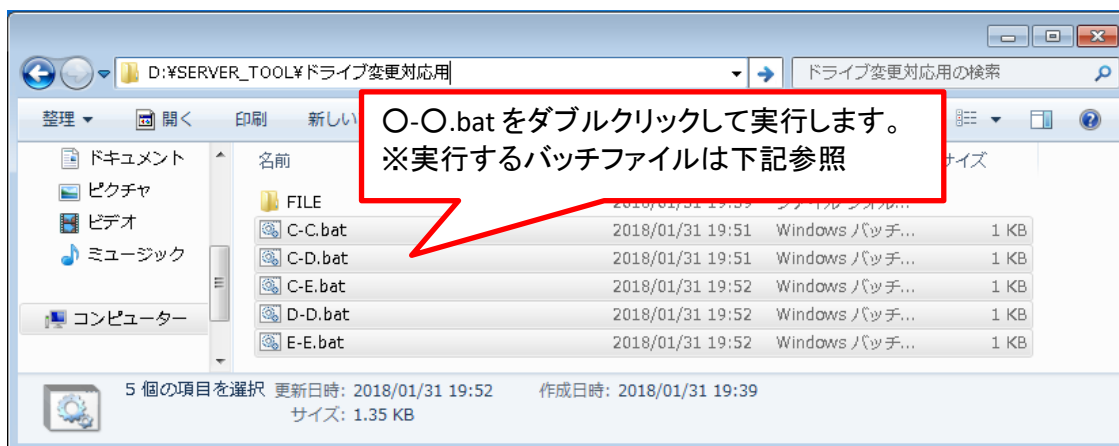
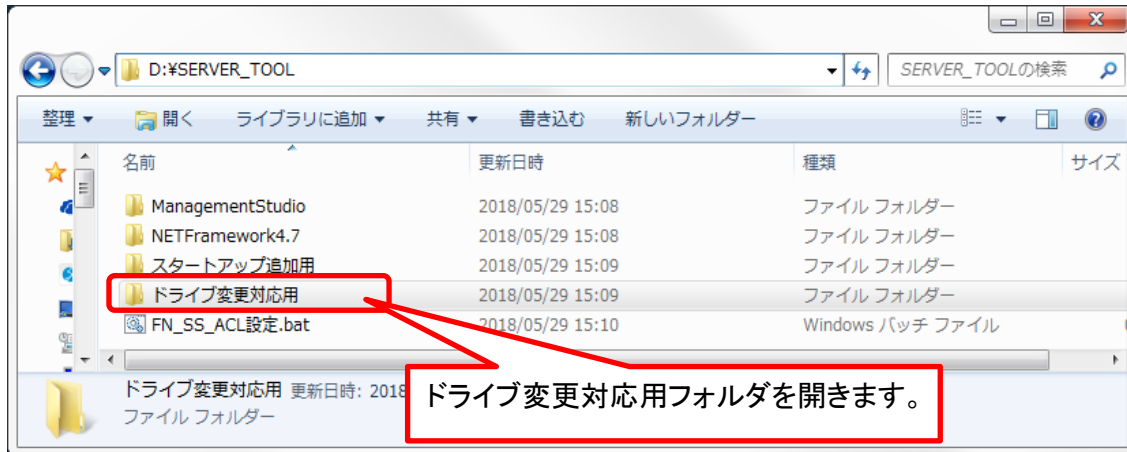




ドライブ変更設定

クライアントサーバー運用の場合は設定不要です。
インストール先のドライブを変更していない場合は設定不要です。

インストールDVDの SERVER_TOOL フォルダを開きます。



※※※実行するバッチファイルについて

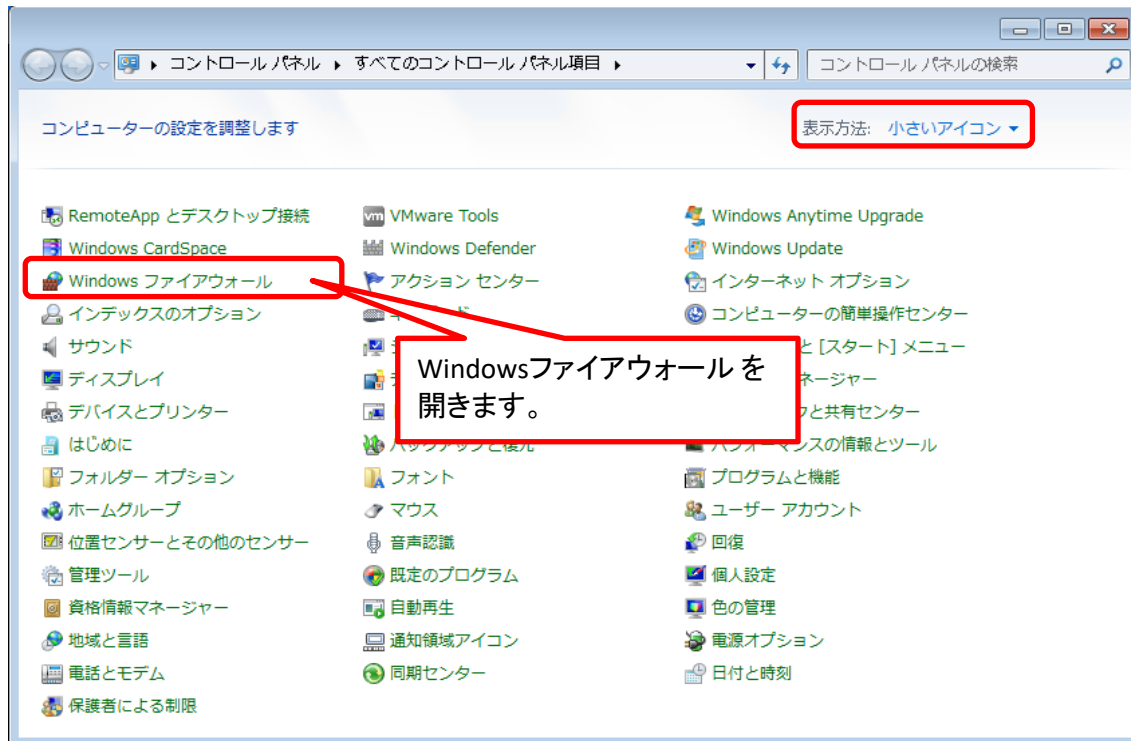
C-D.bat : クライアントシステムをC、サーバーシステムをD ドライブにインストールした場合。
 C-E.bat : クライアントシステムをC、サーバーシステムをE ドライブにインストールした場合。
 D-D.bat : クライアントシステムをD、サーバーシステムをD ドライブにインストールした場合。
 E-E.bat : クライアントシステムをE、サーバーシステムをE ドライブにインストールした場合。
 C-C.bat : クライアントシステムをC、サーバーシステムをC ドライブにインストールした場合。

※ 上記の組み合わせ以外の場合は、弊社窓口までお問い合わせください。

Windowsファイアウォール例外設定

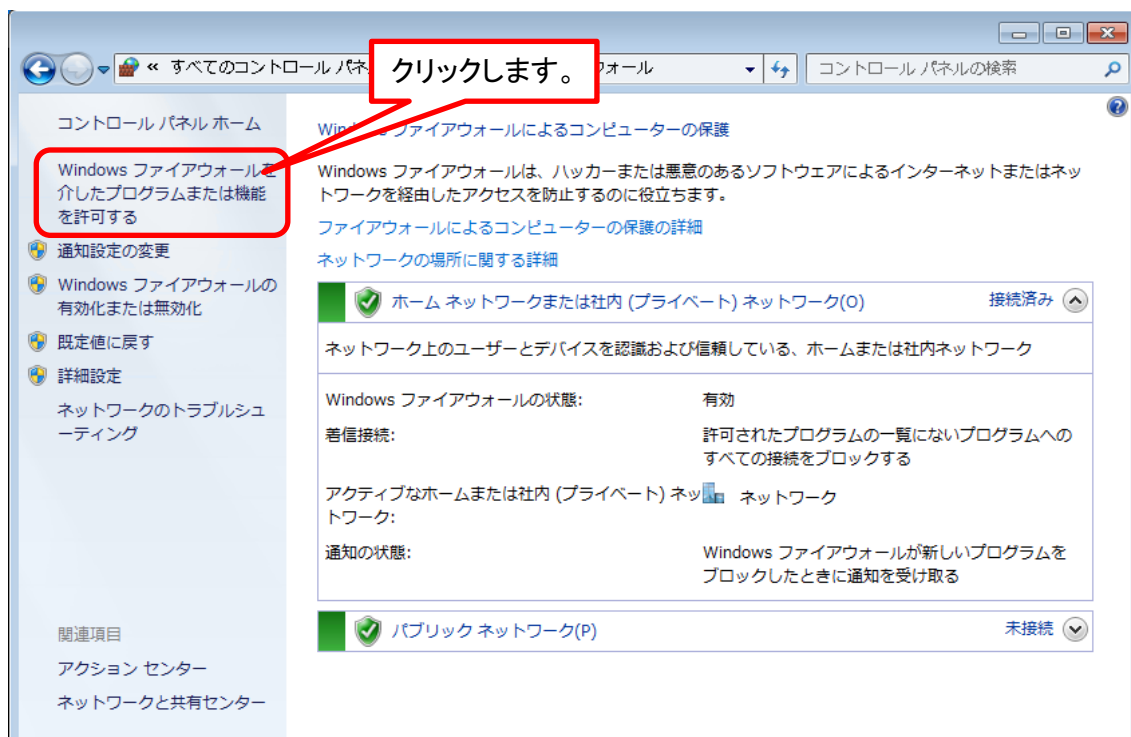
スタンドアロン運用（1台のPCでデータやマスタを管理する場合）は設定不要です。

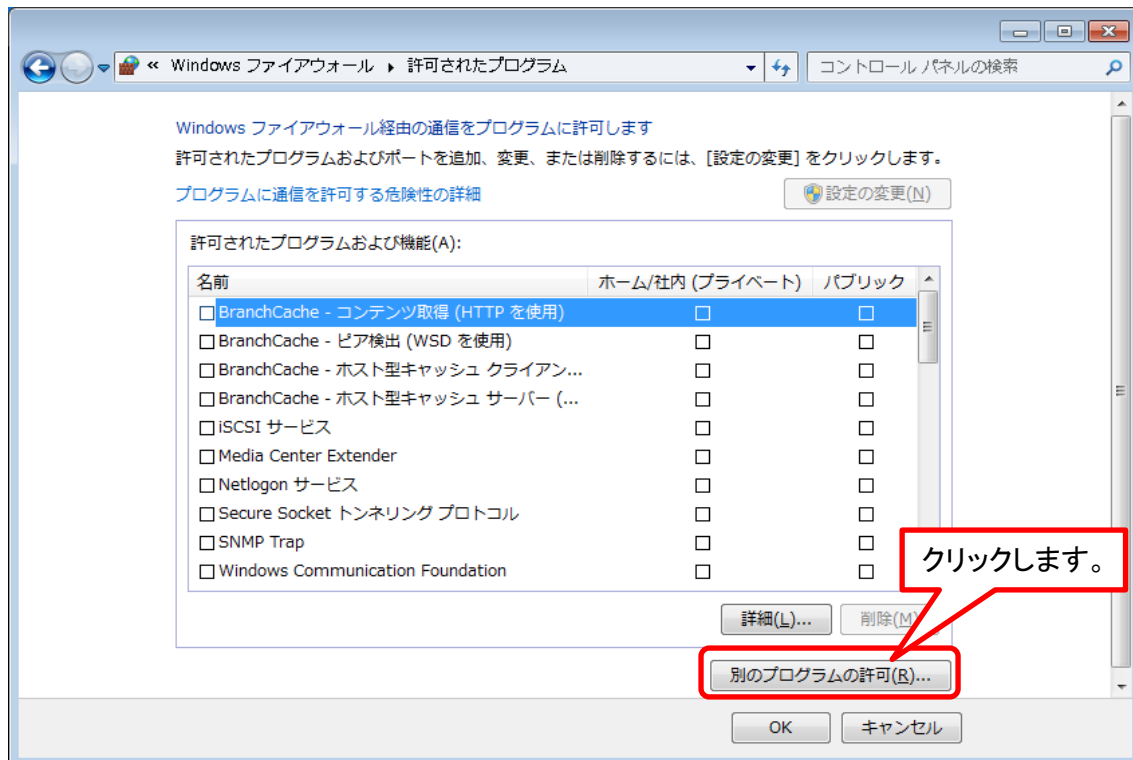
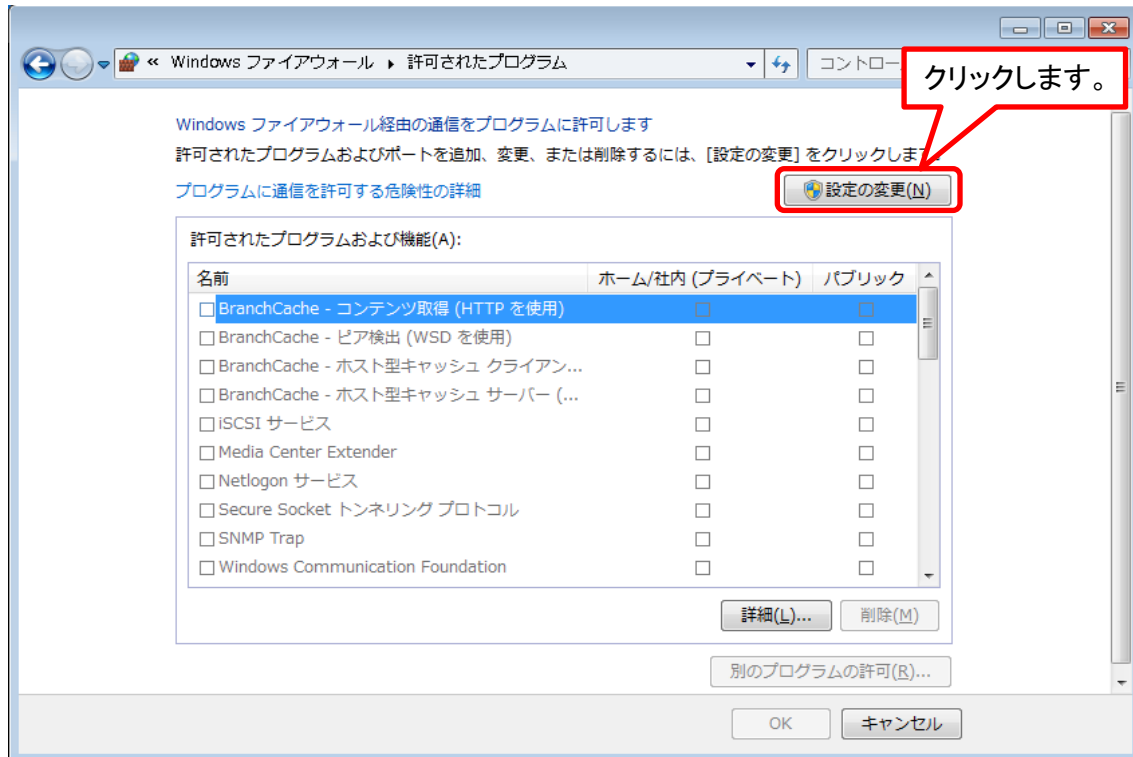
コントロールパネルを開きます

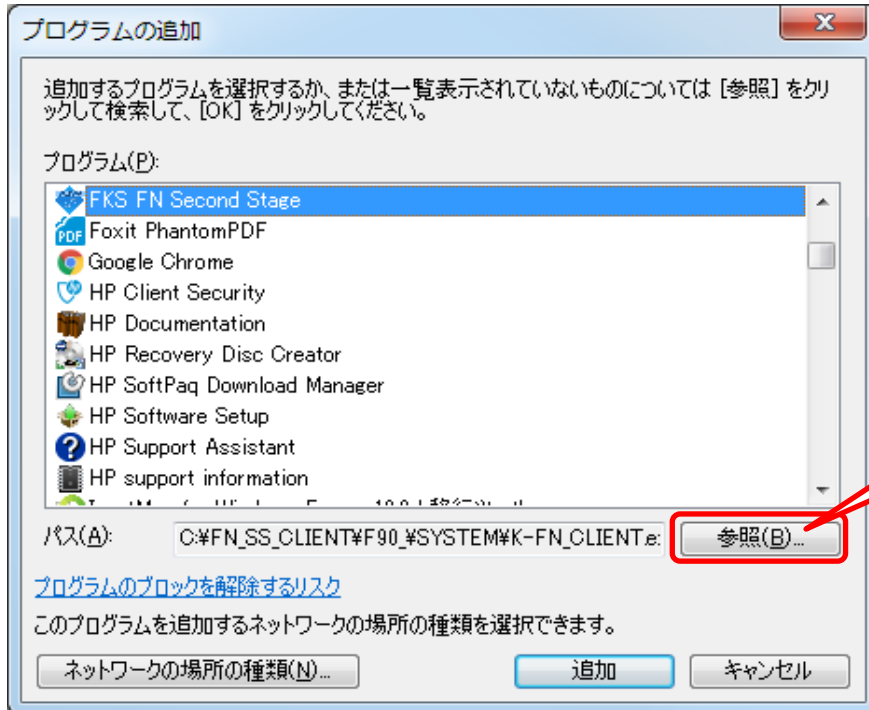


SQLのファイアウォール設定

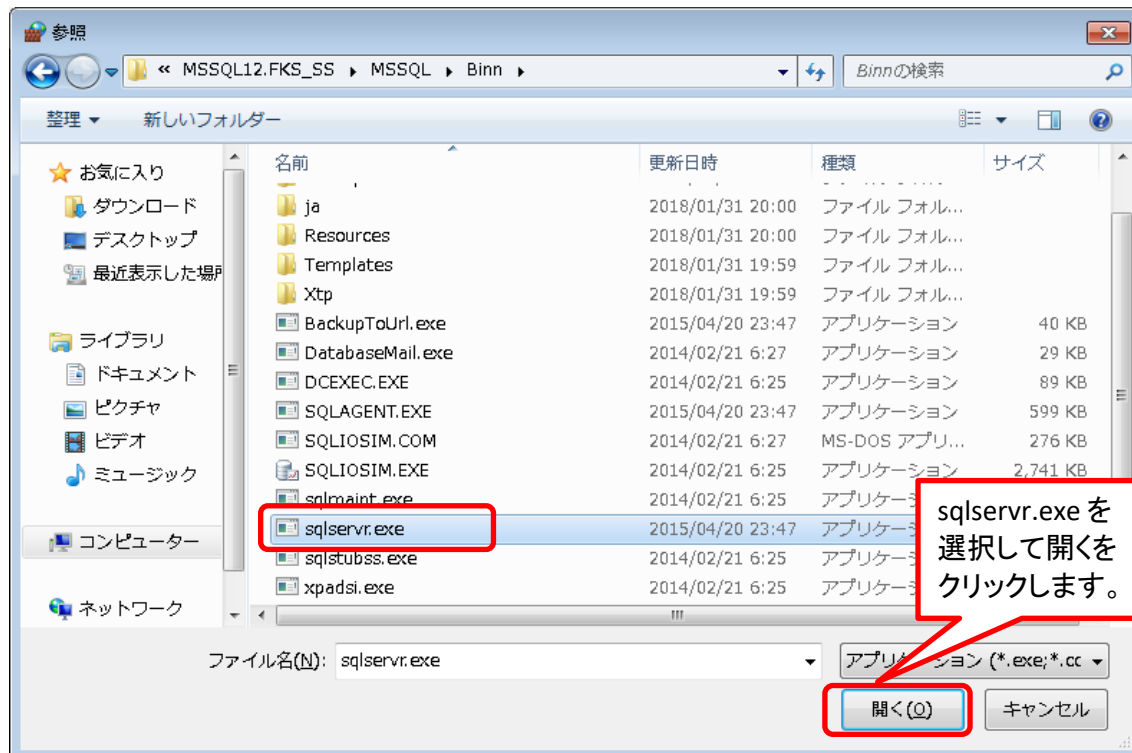
この設定は、RC-SSと共通の設定です。
先にRC-SSのインストール時に、この設定を行っている場合は、この後の
ISのファイアウォール設定を行ってください。

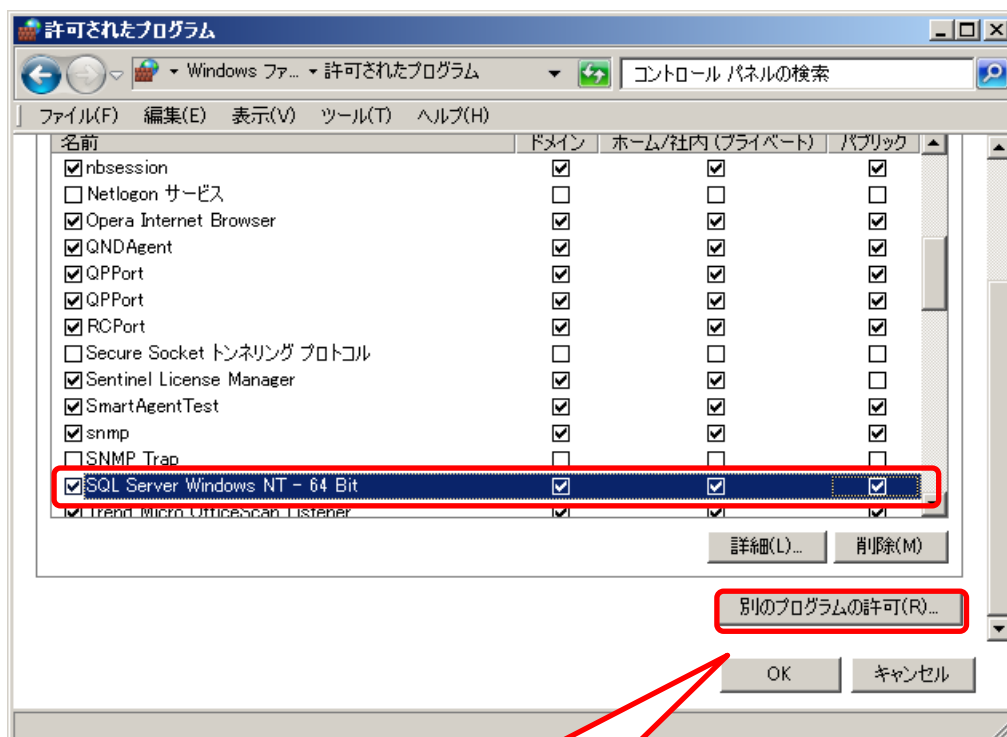
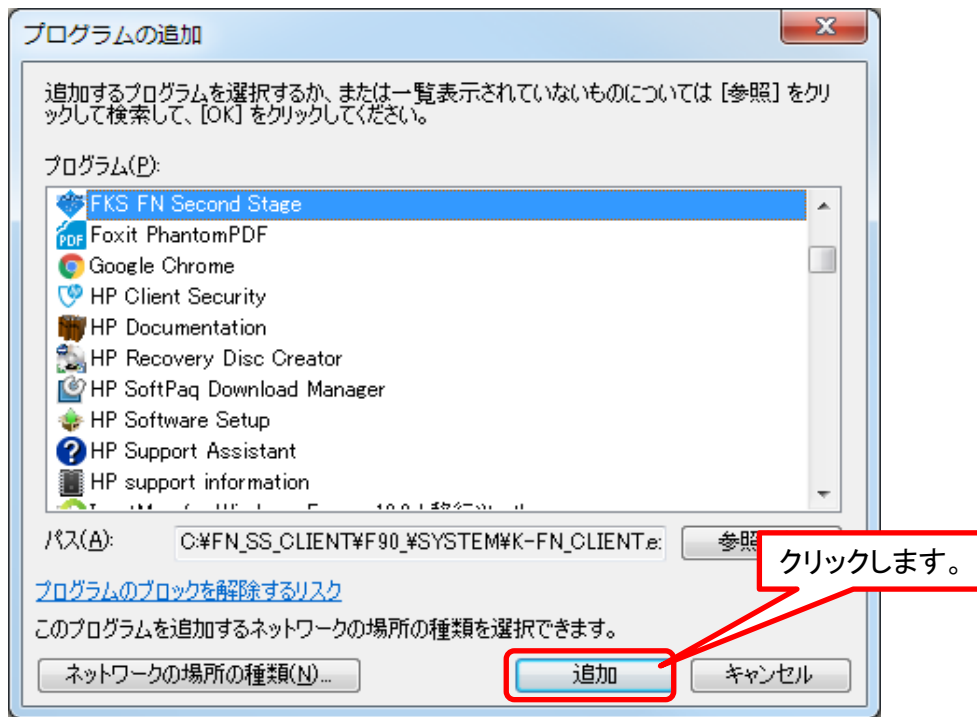






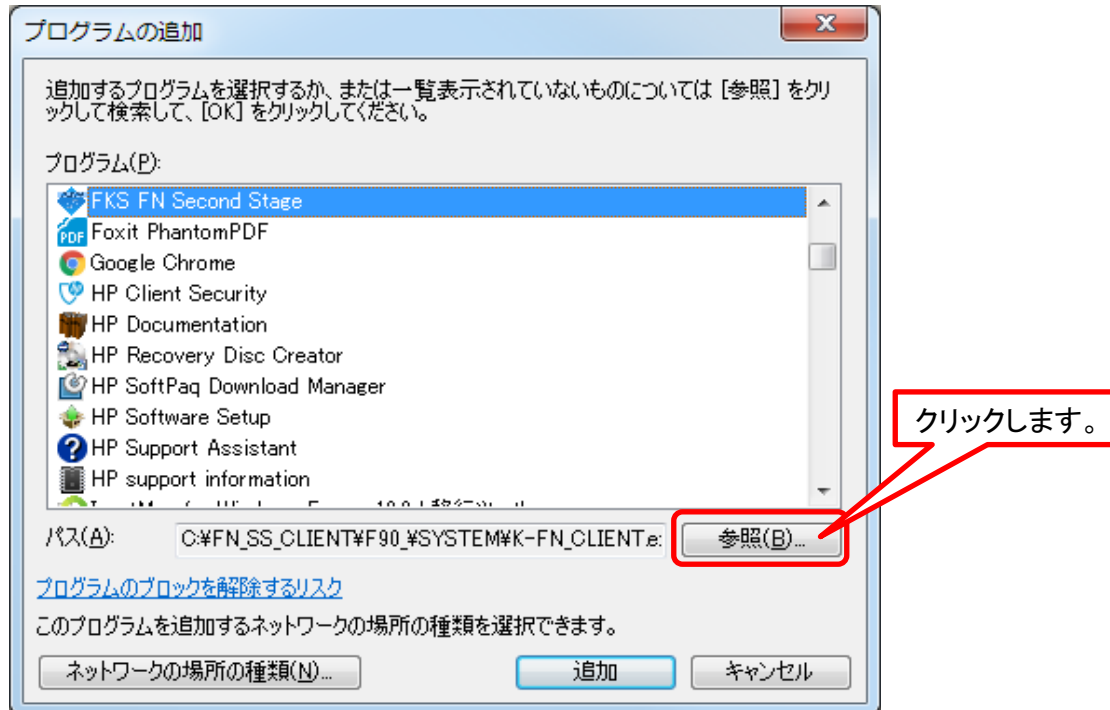
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL 12\FKS_SS\MSSQL\Binn を開きます。



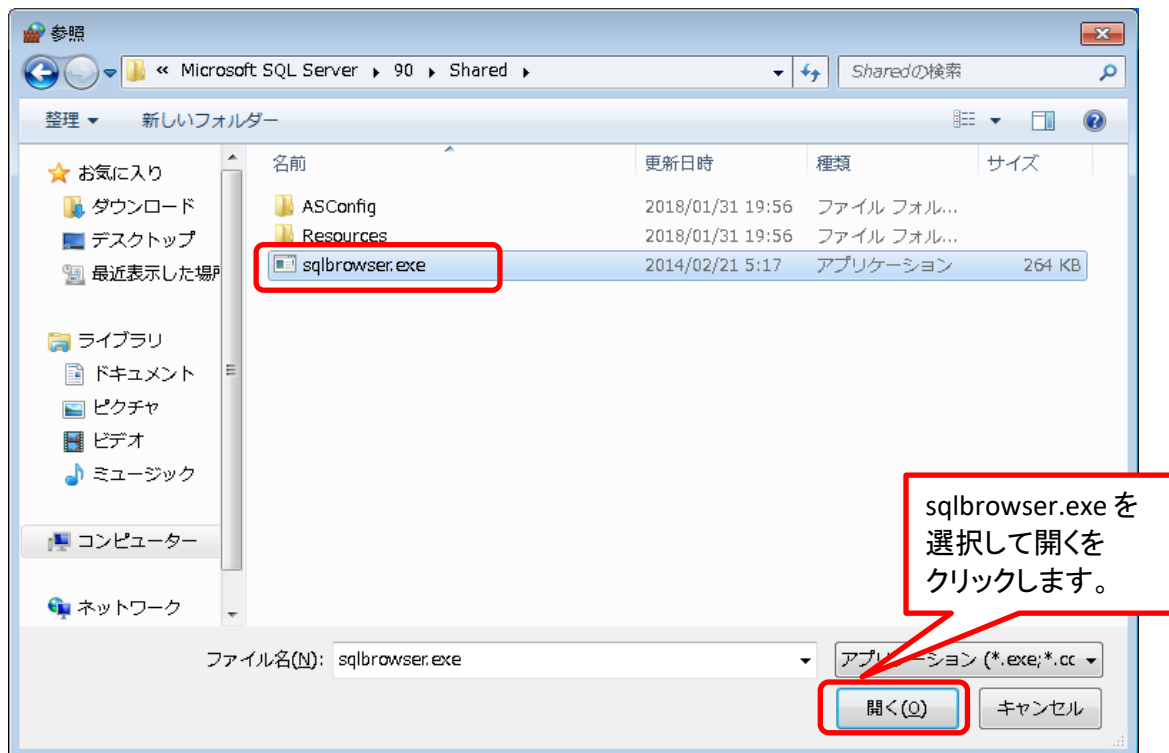


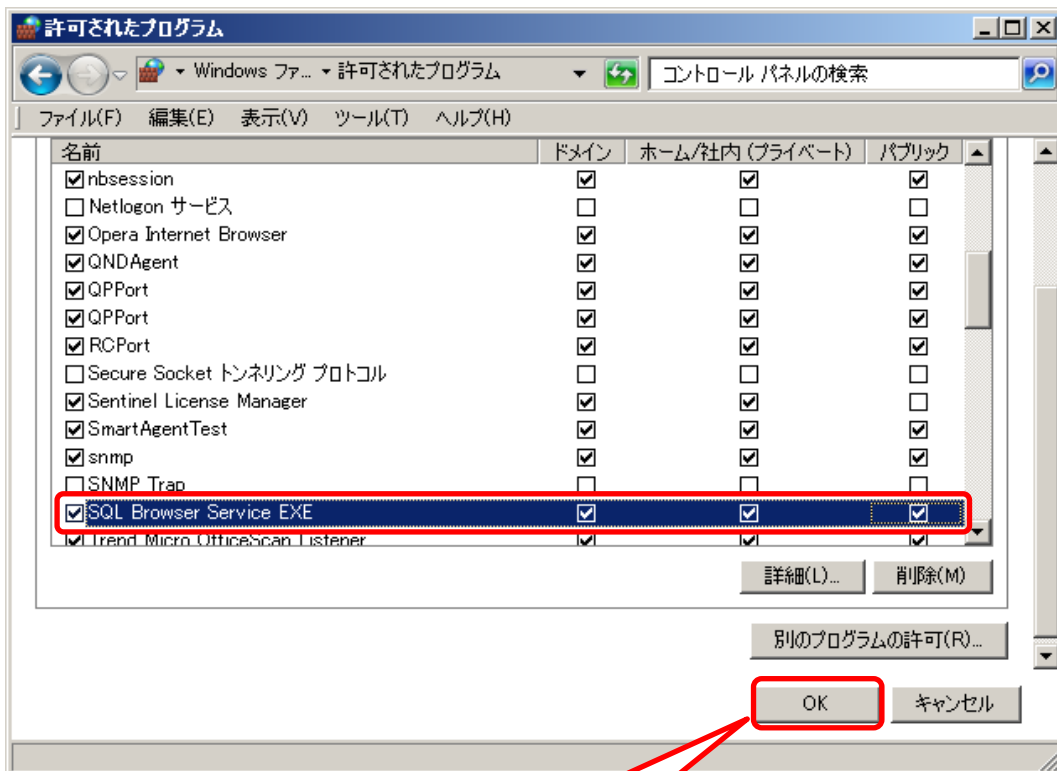
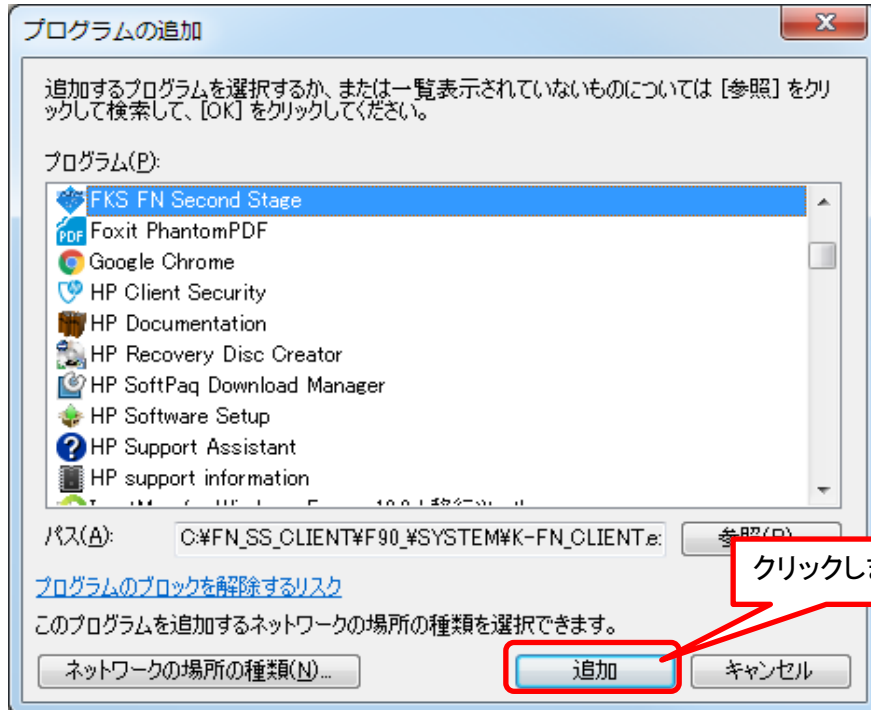
一覧に追加され、すべてにチェックが入っていることを確認してクリックします。

この次の sqlbrowser.exe の設定は、弊社下記製品のいずれか 1 つでも C/S で運用中のサーバーであれば、既に設定済みなので、ここで設定する必要はありません。
 この後の IS のファイアウォール設定を行ってください。
 FKS/RC (全バージョン)、FKS/FN (全バージョン)、COMPASS (全バージョン)
 FKS/ST (Ver4)

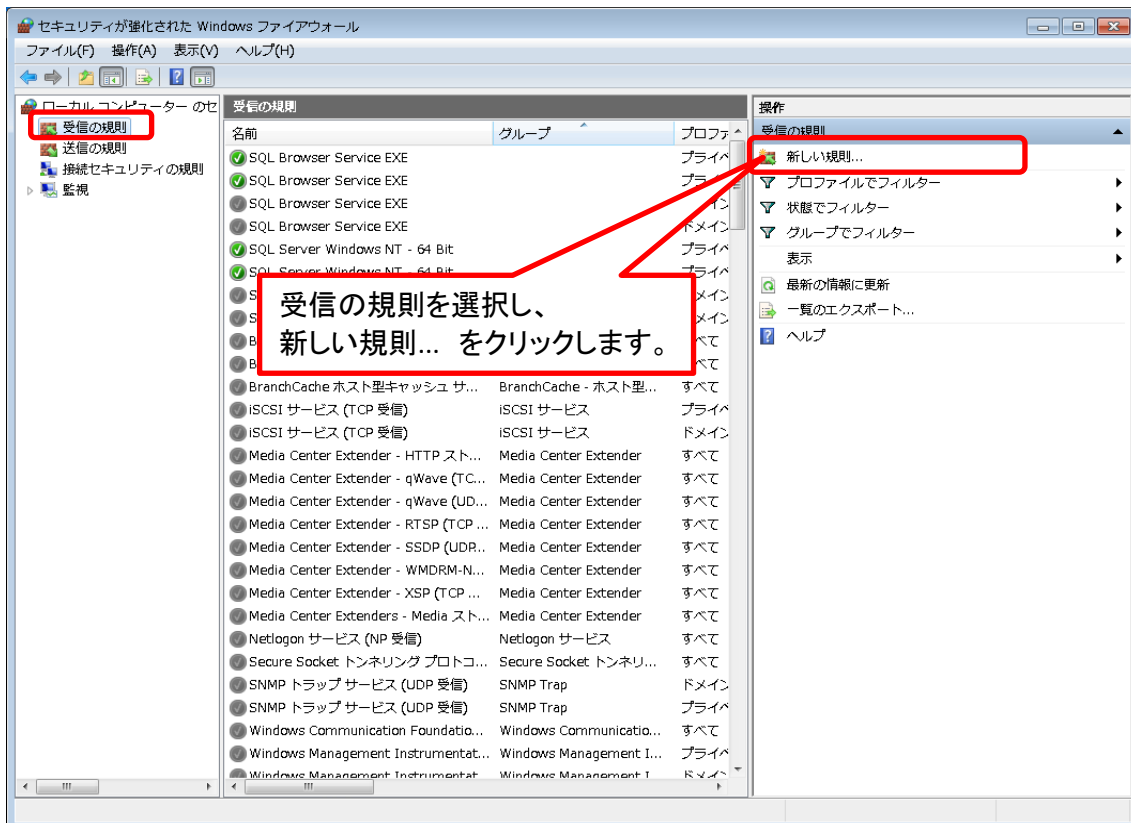


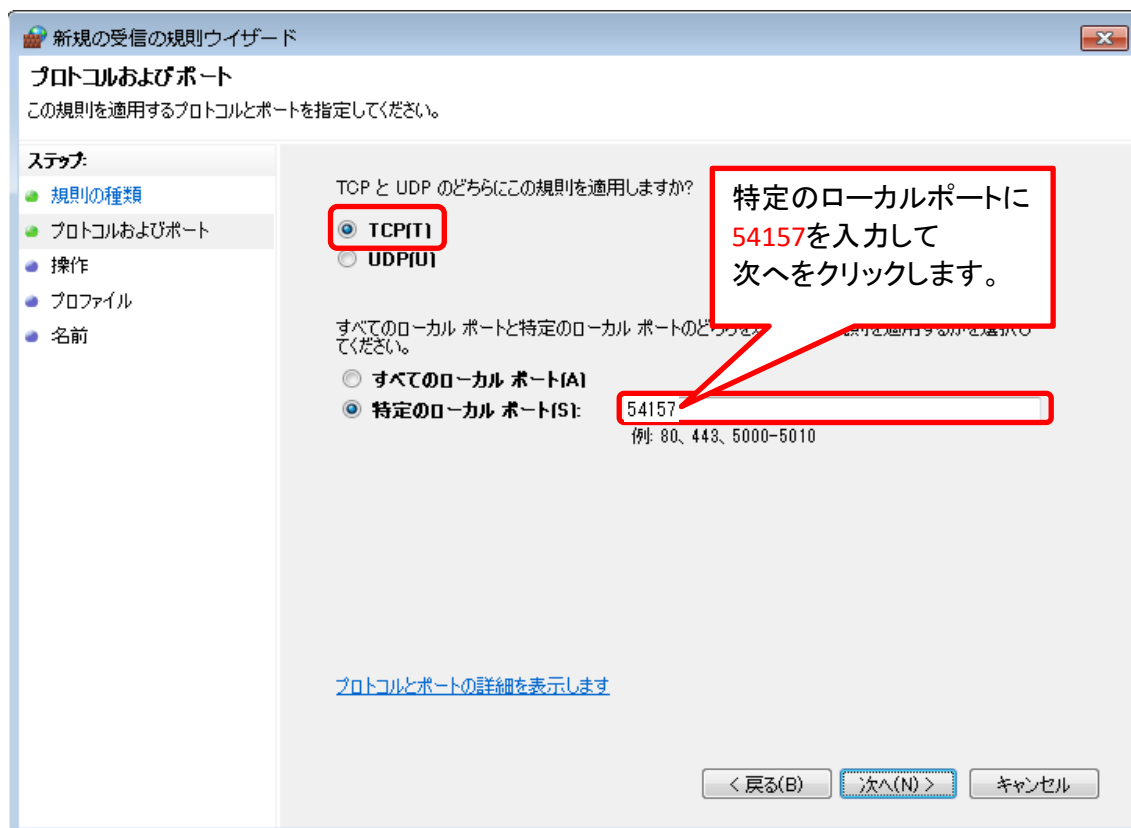
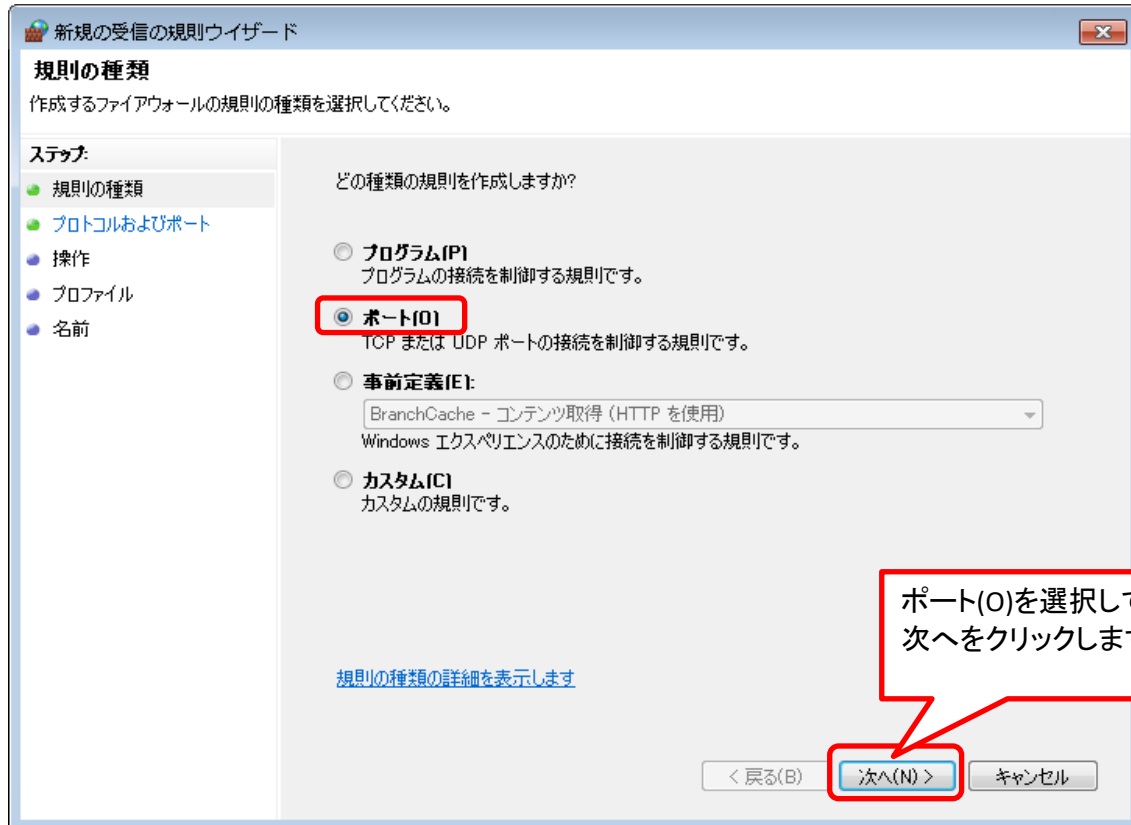
C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe を開きます。

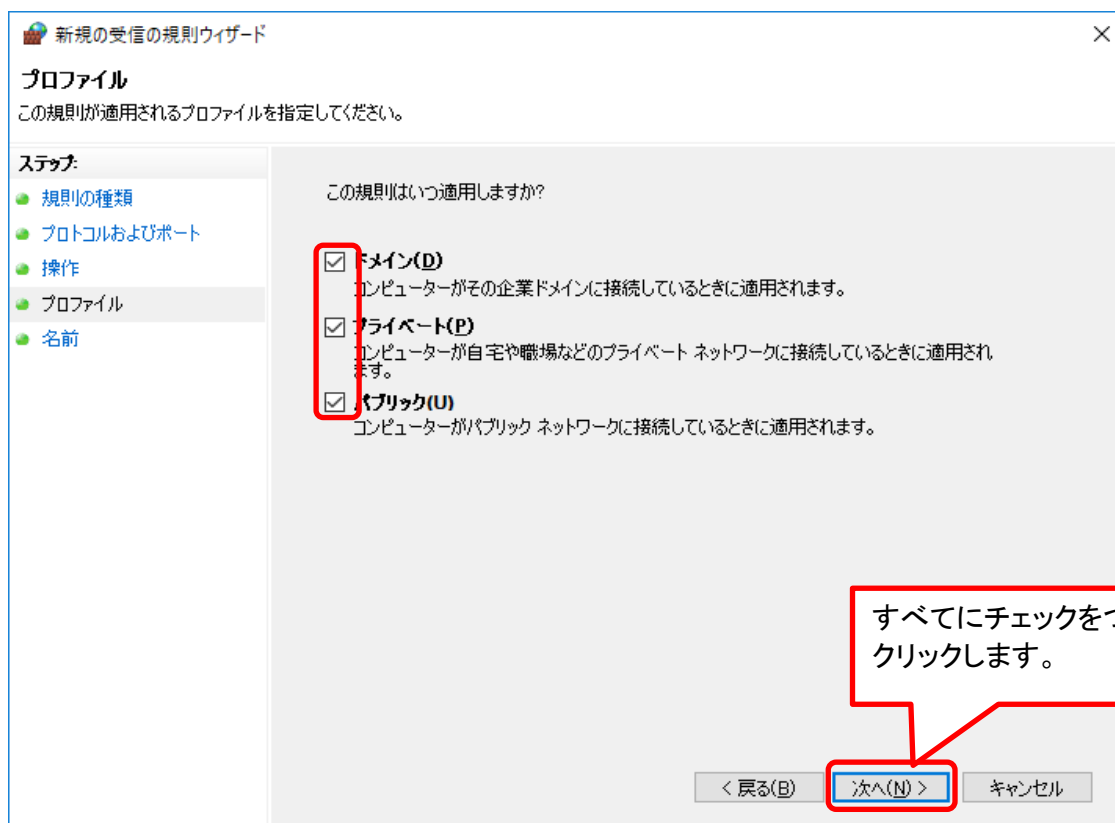
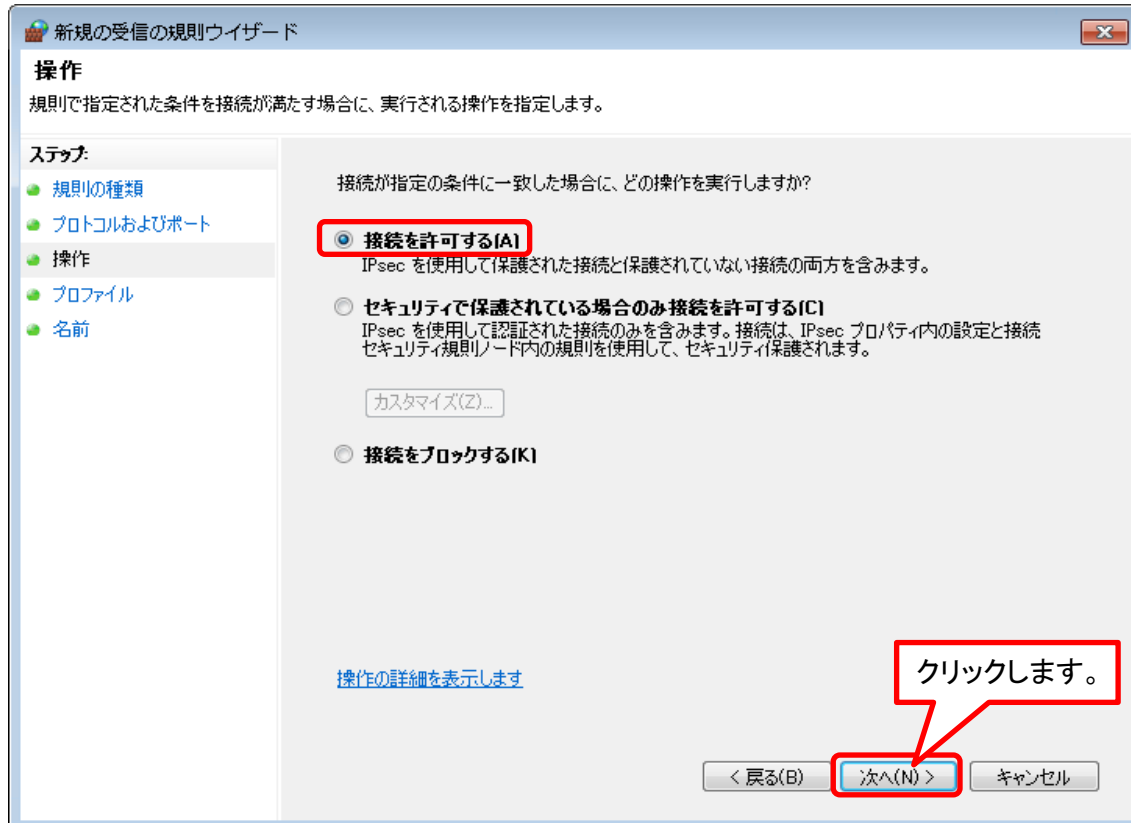


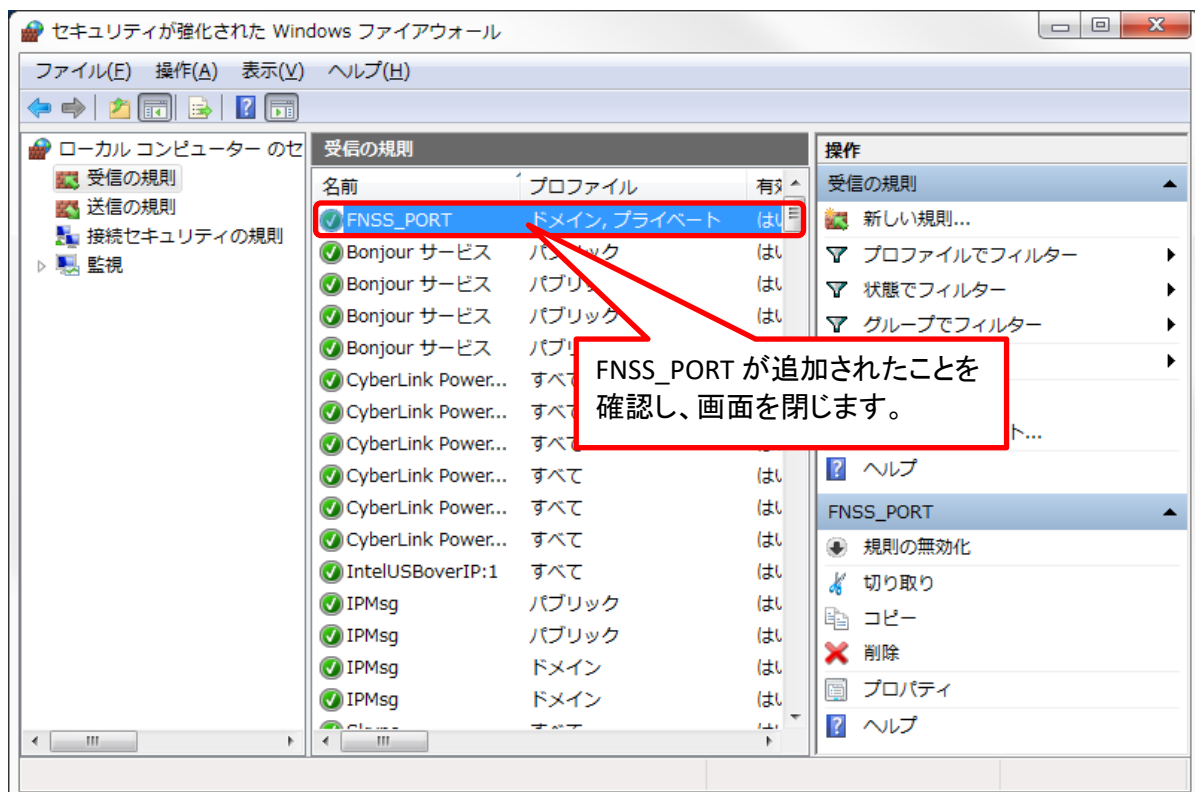


IIS のファイアウォール設定





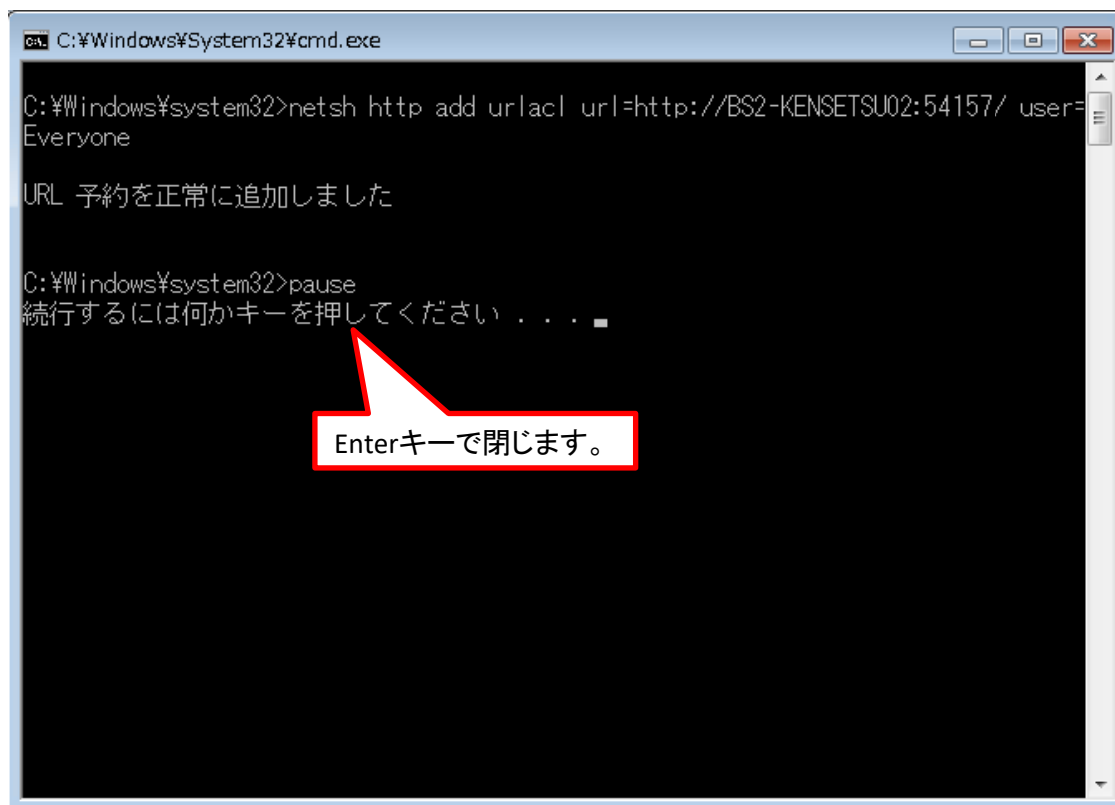
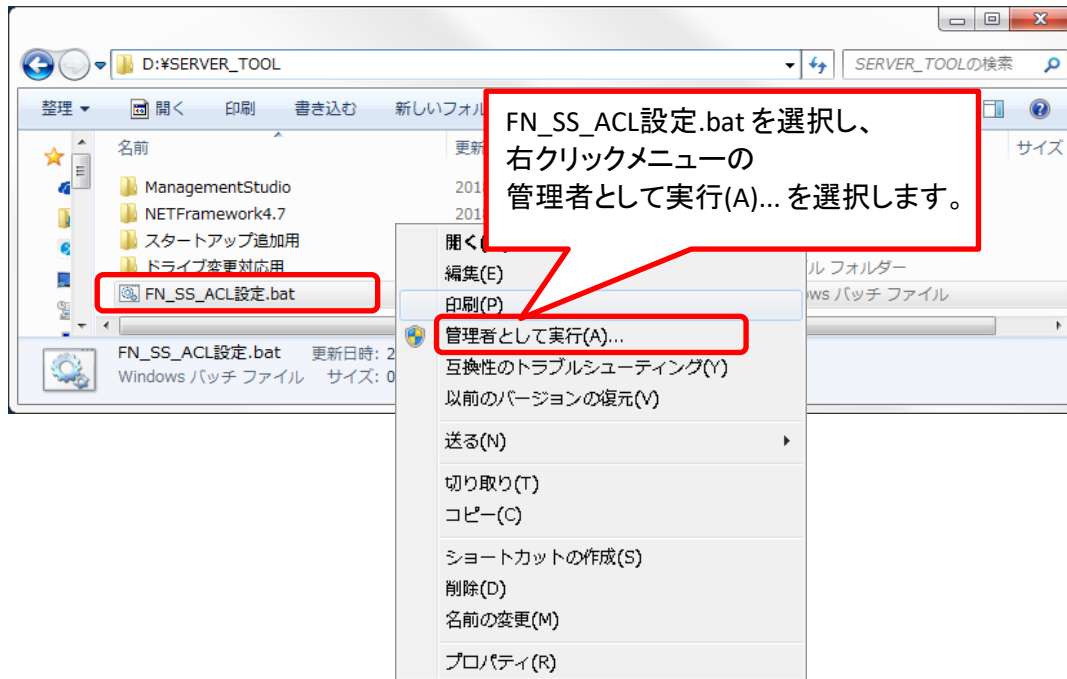




NET接続設定

スタンドアロン運用（1台のPCでデータやマスタを管理する場合）は設定不要です。

サーバーにて、NET接続の設定をします。
インストールDVDの SERVER_TOOL フォルダを開きます。



以上で終了です。上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。